

あおり教育フェスタの
発表内容の一部について、
紹介していきます！



こんな研究しています！

文責 研究委員会委員長 野々口 浩幸

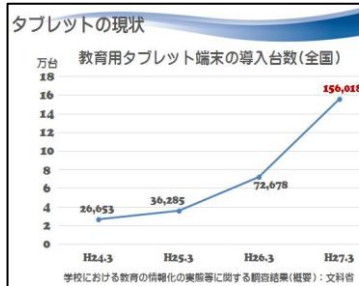


ICT活用における授業活用例と 最新情報の収集と提供

目 標	分かり・深まりのある授業になるためのICT活用促進とICTにおける最新情報の収集と提供。
テーマ 設 定 理 由	ICTを効果的に活用するために、児童・生徒の発達段階、教科の特性、単元の目標や内容、学習の目的や場面を授業づくりに活かす必要がある。さらに、学習内容の理解の定着にとどまらず、体験的な活動・コミュニケーション活動等、児童・生徒が主体的に活動するためのツールとして必要であると考えた。

体験型提案① タブレットの機能を使って……

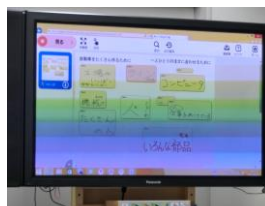
一斉授業での活用体験
タブレットの標準機能（2画面表示）を利用して「比べる」を行ってみよう。



- ★オブザーバー
田中 正也 (産業教育課長)
- ★リーダー
斗澤 伸浩 (産業教育)
- ★メンバー
越膳 一也 (特別支援)
川崎 陽子 (教育相談)
加賀沢広二 (産業教育)
木村 紀子 (産業教育)
成田 大志 (産業教育)
荒関 英樹 (産業教育)
高橋 和彦 (産業教育)
小西 永久 (産業教育)

体験型提案② 学習支援ソフトを使って……

協働的・個別的体験
デジタルノートを利用し、みんなでシェアしてみよう。



会場は、2階 第2研修室です。

Vol.⑤ 教師のモチベーションアッププロジェクト

研究目標 教師のモチベーションアップにつながるような「日めくりカレンダー」を作成する

- <メンバー>
 ★オブザーバー
 野々口浩幸（教育相談課長）
 ★リーダー
 山下 孝子（教育相談課）
 ★メンバー
 工藤 暢之（義務教育課）
 古川 貴紀（義務教育課）
 柴田 幸一（義務教育課）
 工藤 直子（教育相談課）
 廣谷 陽輔（教育相談課）

なぜ、今、教師のモチベーションアップが必要なのか…？



「私たち教師は、いろいろな仕事に追われて、「教師本来の仕事」ができなくて、「多忙感」「脱力感」「疲労感」を感じることが多くないですか～？」

「教師本来の仕事」とは…？



「もちろん、子どもたちの未来のために役立つこと…例えば、教材研究とかね～子どもと語り合うとかね～『やりがい』のある仕事のことですよ～」

ほかに教師の「やりがい」を支えるものは…？



「打ち解けられる『同僚』がいることも、かなりモチベーションアップするでしょう。」

「日めくりカレンダー」に載せた言葉をいくつか紹介します！
 ～あなたの同僚はどんな言葉に勇気づけられるタイプですか～



巻
 物事は初めはきまって少数の人によって、ときにはただ一人で始められるものである。

偉人シリーズ



勇気づけバージョン

Englishバージョン

17
 The best thing is to respect and trust.
大切なことはお互いに尊敬、信頼することです。

5
 いつも見てくれる先生を子どもは好きになる。

11月18日(金) 9:30～15:30、19日(土) 9:00～15:40 当センター2F廊下にて、「日めくりカレンダー」を展示。先着20名様にプレゼント！！

近年、教師の9割以上が職務の忙しさを感じ、時代の変化や子ども、保護者の多様化に伴う現代的な忙しさも教師の心に重くのしかかっています。このような忙しさは教師としてのやりがいを感じられなくなったとき、多忙感につながります。この多忙感はずっと教師自身の心の健康を損なうことにもつながります。教師としてのやりがいを支えるものの一つとして、同僚との支え合いがあげられます。その同僚同士の会話において、どのような言葉をかけると同僚のモチベーションアップにつながるのかが理解されていないことも…。そこで本研究では、「教師力アップ」「教師への勇気づけ」という視点から、どのような言葉をかけると教師自身の業務に対するモチベーションが高まるのかを探り、それを職員室に掲示できるような「日めくりカレンダー」（3種類）に表してみました。

(掲載している写真は、毎週水曜日の研究活動中の様子です。)

あおもり教育フェスタ2016

平成28年 11月18日(金)・19日(土)

Center Information
 Aomori Prefectural School Education Center.

Konken 作成担当 産業教育課 成田 大志 電話 017(764)1994